

せ か い い ち
小さくても、世界一。



EXEN

エクセン株式会社

I 企業理念

1. 私たちは時代を先取りする「研究開発型メーカー」の道を歩みます。

高度な技術力と営業力を活かし、高品質な製品と専門知識を、流通過程を通じて顧客に提供し、社会の進歩の為に“一隅を照らす”企業になります。

2. 私たちは次の事業領域で、質そして規模において「世界一の専門家企業」を目指します。

● コンクリート・バイブレーターを極める

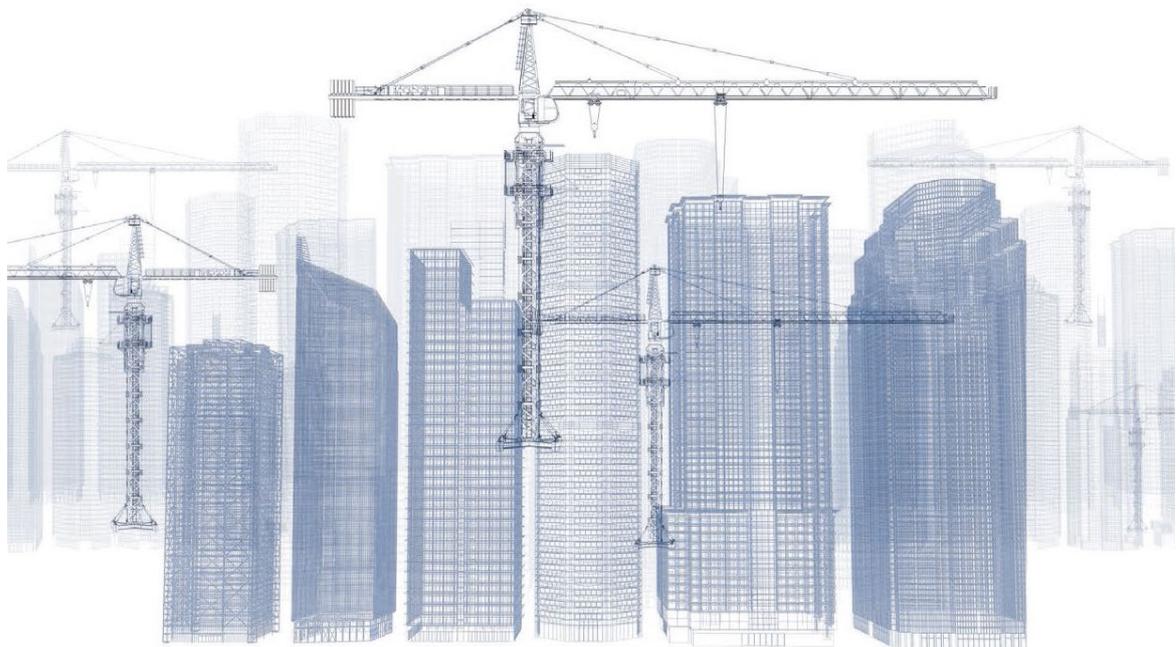
性能・堅牢性・効果性・装備性等の1次機能はもとより、操作性・美しさ・差別性などの2次機能をも満足させるバイブレーター。さらに時代の要求に応じた省人化の為にコンクリート打設システムを極めます。

● 振動応用技術と関連商品を極める

創業以来100年にわたる「建設業界におけるバイブレーターの第1人者」としての体験を、「振動応用技術」として集大成し、様々な産業界でのモノの生産や人々の生活に求められる、関連商品とサービスを極めます。

3. 私たちは「積極果敢な、豊かな人間集団」を目指します。

縁あって、エクセンに集う一人一人の個性を尊重し、国際化をちゅうちょせず、働く時はよく働き、遊ぶ時はよく遊ぶ・・・折目正しい人づくりと公正な組織運営によって物心両面の繁栄を目指します。



II. 企業概要

事業内容

建設用ならびに一般産業用の振動応用技術機械・機器における研究開発、製造、販売、コンサルティング

会社の概要

商号	エクセン株式会社
代表者	代表取締役社長 林 哲平
資本金	8,750 万円
創業	1915 年（大正 4 年）
売上高	42.5 億円（2023 年度実績）
従業員数	171 名（2024 年 4 月現在）
本社所在地	〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目 17 番 13 号
支店・営業所	札幌 仙台 東京建機 東京産機 中部 大阪 広島 九州
生産本部	草加工場・R&Dセンター（埼玉県草加市）
海外拠点	愛科昇振動機械有限公司（中国）
製品	（一般産業用） 振動モーター、ノッカー、ブラスター、フィーダー、スクリーン 等 （建設・土木用） コンクリートバイブレーター、カッター、コアドリル 等



III 役員・幹部

代表取締役社長		林 哲平
常務取締役	(兼)営業本部長	福地 新一
常務取締役	(兼)生産本部長	出石 広明
取締役	経営管理部長	山崎 真也
	草加工場長	松井 重夫
	R&Dセンター統括長	菅原 圭一
	品質保証部長	黒田 泰生
監査役	公認会計士	幸山 守
顧問		林 秀一

IV お取引銀行

みずほ銀行	浜松町法人第一部
三菱UFJ銀行	田町支店
東日本銀行	浜松町支店
十八親和銀行	東京中央支店
日本政策金融公庫	東京支店

V 事業所網

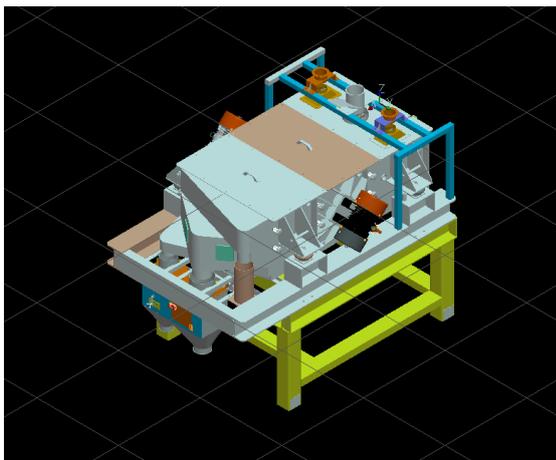


エクセンの国内事業拠点は、北は札幌から南は九州まで8拠点。

国内営業は本社ビル2Fの東京建機支店、東京産機支店はじめ、全国をカバーする支店・営業所網できめ細かい顧客へのサービス体制を確立しています。

生産・開発の拠点は埼玉県草加市、ここで新商品の開発に明け暮れる技術スタッフ、より良い製品作りに取り組む生産スタッフが全国の現場でお役に立てる製品作りに取り組んでいます。

中国浙江省にも生産工場(愛科昇振動機械有限公司)があり、近い将来には中国市場のための営業拠点となります。



VI. 会社の沿革

エクセンの歴史は 100 年、日本の高度成長、インフラ整備の歴史と共にあります。

永い歴史だけに若い社員は「そんなこともあったのか...」と驚くこともしばしばです。

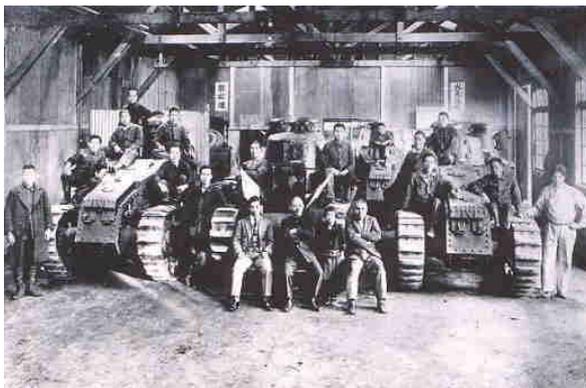


『はじめは“自動車メーカー”』

エクセンの起源 1915 年、創業者 林 茂木 が現在の本社ビルの所在地である東京都港区浜松町に林自動車製作所を立ち上げたことに始まります。

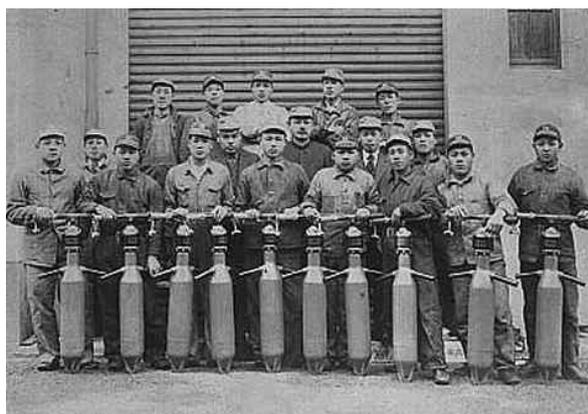
左の写真は創業者が完成させた国産第一号自動車ですが、現存する資料はこの写真のみ、図面も戦争で焼失してしまいました。

東京モーターショーでもこの写真が自動車の歴史コーナーに展示され、現社員が見つめてビックリすることもあります。



『コンクリートバイブレーターとの出会い①』

左の写真は当時の日本陸軍が輸入した、フランスルノーの戦車です。当時、会社は陸軍技術本部の指定工場になっていました。この戦車を輸入していた商社が、コンクリートバイブレーターを輸入したことが、当社とバイブレーターとの出会いの契機となったのです。

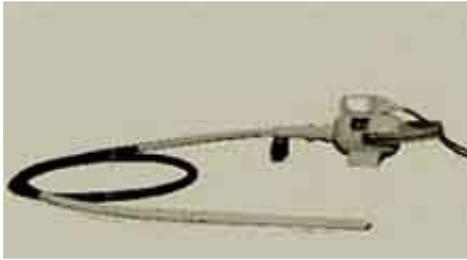


『コンクリートバイブレーターとの出会い②』

日本でも発電所やダムなどのインフラ整備が活発となってきた昭和の初期には、コンクリートの消費量が増大してきました。

写真は当時のダム用エア式バイブレーターです。会社は、コンクリートバイブレーター国産化の依頼を受け、自動車と同じように研究開発をすすめ、1938 年「林製作所」としてコンクリートバイブレーターの製造をスタートしました。

しかし、軍用車輛の試作も並行して続けており、当時の世相と技術屋としての気概もうかがうことができます。



『戦後復興と専門メーカーとしての成長』

国鉄(今のJR)の電力不足を補うためのダム建設用のコンクリートバイブレーター納入を契機に、本格的に量産体制に入りました。

以降、次々と二次製品工場用、隧道用、道路用のバイブレーターを送り出し、高度成長期日本各地で急増するあらゆる土木建設工事の効率化を推進。業界NO. 1の地位を確固たるものにしたのです。

上の写真が戦後の復興に大活躍した空気式バイブレーターに続くヒット製品となった「電気式フレキシブル型MF」タイプ。

下の写真がダム用省力バイブレーター「バイバック」の初期型。ダムコンクリート打設を機械化したバイバックは、土木工事ラッシュの時代を迎え、労働力不足、工期短縮という建設業界の長年の課題を一気に解決した画期的な製品となりました。

『業容の拡大と製品の進化』

80年代以降は、バイブレーターのラインアップ拡大、ノッカー・ブラスターの開発など新事業分野の製品群も整備されました。

また、顧客をきめ細かくフォローするため、全国に営業所網が広がりました。89年には設計から試作まで行える、研究棟が完成しました。

『エクセン株式会社の誕生』

1991年に社名変更、エクセン株式会社となりました。エクセンは振動を発生させる原理「偏心」=エキセントリックと「卓越」=エクセレントからなる造語です。EXENのXの軸がずれているのも偏心をイメージしたものです。

2004年には中国の生産拠点多も本格稼働、100年企業へ向かって着実に歩んでいます。

『草加工場リニューアル 新社屋竣工』

100周年事業の一環として、移転時から使用してきた草加工場の製造棟、物流棟、事務棟のリニューアルを期し、新社屋を竣工しました。

新たな施設・設備での作業環境の充実と合わせ、研究開発・生産管理・物流・生産管理・システムなど全部署がワンフロアで勤務することにより連携も一層強化されています。

VII 会社略歴

- | | | | |
|-------|-------|-----|-----------------------------------------------|
| 1915年 | 大正4年 | 8月 | 創業者林茂木、林自動車製作所を創立 |
| 1938年 | 昭和13年 | 1月 | コンクリート振動機の特許を得て、本格的生産を開始 |
| 1949年 | 昭和24年 | 5月 | (株)林製作所に組織変更 |
| 1958年 | 昭和33年 | 3月 | 業務拡大に伴い、販売部門を建機工業(株)として分社 |
| 1961年 | 昭和36年 | 6月 | (株)林製作所の本社・工場を大田区矢口に移転 |
| 1963年 | 昭和38年 | 9月 | 建機工業(株)を林バイブレーター(株)に社名変更 |
| 1967年 | 昭和42年 | 1月 | (株)林製作所 社団法人中小企業研究センター賞全国表彰を受賞 |
| 1969年 | 昭和44年 | 4月 | (株)林製作所の本社を港区浜松町に、工場を埼玉県草加市に移転 |
| 1983年 | 昭和58年 | 8月 | 浜松町本社ビル完成 |
| 1988年 | 昭和63年 | 9月 | (株)林製作所と林バイブレーター(株)を合併
新ブランド“EXEN”ロゴマークを発表 |
| 1989年 | 平成元年 | 10月 | 草加工場に研究棟完成 |
| 1991年 | 平成3年 | 3月 | 林バイブレーター(株)をエクセン(株)に社名変更 |
| | | 11月 | 現顧問 林 秀一 代表取締役社長に就任 |
| 2003年 | 平成15年 | 10月 | 中国拠点、愛科昇振動機械有限公司(嘉興)を開業 |
| 2015年 | 平成27年 | 5月 | 草加工場、新社屋竣工 |
| 2016年 | 平成28年 | 6月 | 現社長 林 哲平 代表取締役社長に就任 |

VIII 事業所所在地

本 社	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8455	FAX 03-3434-1658
札幌営業所	〒002-8005	札幌市北区太平5条 2-5-35	TEL 011-772-0861	FAX 011-772-0903
仙台営業所	〒983-0025	仙台市宮城野区福田町南 1-4-22	TEL 022-259-0531	FAX 022-259-0568
東京建機支店	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8451	FAX 03-3432-7709
東京産機支店	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8453	FAX 03-3432-7709
中部支店	〒465-0012	名古屋市名東区文教台 2-410	TEL 052-775-5155	FAX 052-775-5157
大阪支店	〒560-0085	豊中市上新田 4-6-8	TEL 06-6831-3008	FAX 06-6871-4282
広島営業所	〒733-0863	広島市西区草津南 4-2-31	TEL 082-278-6868	FAX 082-278-6871
九州支店	〒811-1314	福岡市南区の場 2-6-15	TEL 092-586-1200	FAX 092-586-1099
海外営業部	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8452	FAX 03-3434-8368
草加工場	〒340-0003	草加市稲荷 5-26-1	TEL 048-931-1111	FAX 048-935-4473